

Rotary



世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 石川 元信

幹 事 谷田部 修

会報・雑誌委員長 田崎 信孝

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3022号 2023年11月7日(雨後晴れ) 第18回例会 会員数105名

点 鐘 石川(元) 会長
司 会 副SAA 田嶋会員

- ◇国歌「君が代」
- ◇ロータリーソング「四つのテスト」
- ◇本日のランチ 牛鍋定食



ビジター紹介 小林(正) 副会長

- ◇来訪ロータリアン
1名(1クラブ) 累計26,621名
RI第2550地区第3グループBガバナー補佐
上野 裕之 様(宇都宮陽東RC)
- ◇卓話講師 社会福祉法人 栃木いのちの電話
事務局長 大橋 房子 様



会長挨拶 石川(元) 会長

皆様、こんにちは。季節はずれの暑い日になりましたが、木々を見るといつの間にか秋が来ています。先日用事で南那須に行った時、街道沿いに柿の木がありまして、だいぶ柿はなくなっているのですが、てっぺんの方に一つ柿が残っていました。それを「木守り柿」と言うそうです。次の年もまた実をつけてくれるようにと願います。「布施柿」とも言われ、小鳥や他の者たちに施しをする、それによって来年もよい実がつかますように、ということです。布施というと、無財の布施というのがございます。その中でよく言われるのが、「眼施」：優しい目で見ると、「言辞施」：優しい言葉をかける、「身施」：心を寄り添うという布施です。一切金銭が関わらず、自分の身をもって布施が出来る。布施というのは自分の心を育てる行であります。本日、いのちの電話から卓話をいただきますが、「身施」や「言辞施」にも繋がると思っています。私たちが日頃、どんなところでも簡単にできる布施行、心のボランティアと言ったらい

いかかもしれませんが、優しい日、優しい言葉、優しい心で寄り添える、これを努めていけばいいのかなと思っております。ご一緒に努めていただければありがたく存じます。

ご挨拶 RI 第2550地区第3グループB
ガバナー補佐 上野 裕之 様

皆さん、こんにちは。今日はポリオデーの御礼に参りました。先月21日の第3グループ総出の募金活動、本当にありがとうございました。先ほど、宇都宮東RCでの浄財、82,707円を受け取り、第3GBの浄財の総額は20万円を超えました。この後、11月11日にホテルサンルート佐野で会長幹事会及び晩餐会、12日に佐野市文化会館で地区大会本会議が行われます。来年2月7日にはIM(ホスト：宇都宮陽北RC)がベルヴィ宇都宮にて開催されます。テーマは「アフターコロナ時代におけるロータリークラブの奉仕活動のあり方について」で、各クラブの会長にお話しをさせていただきます。よろしく願いいたします。

◇菊地 憲壽会員よりご挨拶

この度は、妻優子のために、通夜、告別式にご参列頂き、誠にありがとうございました。生前お世話になりまして、ありがとうございました。



幹事報告 谷田部(修) 幹事

- ◇ロータリーレート 11月は1ドル149円。
- ◇本日18時30分~ ホテルニューイタヤにて 石川年度第5回定例理事会開催。
- ◇11月14日例会は台湾鳳山西區扶輪社来日歓迎例会。夜間例会なのでお間違えなく。



委員会報告

◇スマイルボックス委員会 菊地（正）委員長
上野裕之ガバナー補佐

10月21日ポリオデーのご協力ありがとうございました。

青木格次会員

秋の叙勲で栃木県建築会を代表して旭日小綬章を11月13日に頂くこととなりました。これからも建築士会の発展の為に頑張ってまいりますのでよろしくお祈りいたします。

◇親睦委員会 石田委員長

<誕生祝い・11月>

会員誕生

青木 格次、船田 元、小林 弘治、
駒場 洋助、松山 栄、佐々木 正、
谷田部 修
各会員

夫人誕生

秋元 吉博、平野 利一、石田 裕之、
菊池 信寿、松本 弘元、中山 靖之、
野口 忠男、尾野崎孝夫、齋藤 秀明、
轟 宗雄
各会員の奥様

◇社会奉仕委員会 手塚委員長

バンバ広場清掃奉仕活動：11月19日（日）9時
30分～二荒山神社前バンバ広場に集合。



卓 話

いのちの電話の現状について

社会福祉法人 栃木いのちの電話

事務局長 大橋 房子様



皆さん、こんにちは。栃木いのちの電話は1980年9月に創設し、今年で43年目になります。自殺予防を目的とした電話相談からスタートいたしました。電話を通して、心の悩み、痛みを抱えている方からお話を伺い、その人と触れ合い、よき隣人となることを願ってはじめての活動です。いのちの電話は各県にあるわけではないのですが、全国で50センターあり、相談員が約5,700人おります。全部ボランティアでやっている団体で、少し年齢的に高くなり、人数が減り気味になっているのが

現状です。

栃木いのちの電話には約200名のボランティアの相談員がいて、約25%が男性です。年代は30代～70代と幅広く、平均年齢は60歳位です。2022年の電話を受信した件数は21,799件ございました。1日にすると約60件です。相談内容ですが、一番目に多いのが、生き方、生きがいに関することです。孤独の相談が多くあり、一人ぼっちの孤独もあります。大家族の中での孤独というものもあります。2番目は、病気に関することです。特に、精神的な病の相談が多くあります。匿名で相談できますので、安心してお話をされるのではないかと思います。次に多いのが、家族に関することです。介護の問題等があります。その他、子育ての悩み、夫婦の悩み、近隣での人間関係の悩み等、誰にも言えなくてかけてくる方がいます。かけてくる方は、男性女性の比率はだいたい同じです。年代で一番多いのが50代、次に40代、そして60代となります。宇都宮市でいえば、50代の男性に一番自殺者が多く、気を付けていただきたいと思います。若い子はスマホでメールをしても電話はあまりしません。若者の自殺も多くなってきているので、電話相談の他にインターネット相談をはじめました。今年で約5年になります。相談は、10代、20代、30代が多いです、ネット相談の場合は、東京にある日本いのちの電話連盟に一括して集まり、それを各県の方が引き出して応えることとなります。電話相談、インターネット相談の他にもうひとつ、自死遺族支援わかちあいの会「こもれび」を月2回ほど開催しています。大切な方を自殺によって亡くされた方が、その想いをわかちあえる場所です。これは、仙台、栃木、千葉、奈良、佐賀と全国で5センターしかありません。相談員になる方には、約2年間、1年半の養成講座とその後半年間の初級講座を受けていただきます。体験学習の研修が多くあります。

自殺者数は、2021年は全国で21,007人、栃木県は370人、2022年は全国で21,881人、栃木県は367人でした。なかなか自殺が減らないという状況で、国ではゲートキーパーの養成を始めています。自殺をなるべく早い段階で防ぎたい、そういう活動になります。ゲートキーパーは「気づき」「傾聴」「つなぎ」「見守り」という4つについて出来ることをやりましょう、ということです。いつもと違うと思った時には声をかけて、自分だけでは無理と思ったときは、行政や病院に相談してその後も見守っていく。是非、「気づき」からはじめていただければと思います。皆で一人でも自殺者を減らしたい、そんな思いでございます。どうぞよろしくお願いいたします。

※募金箱を回し集まったお金を寄付致しました。